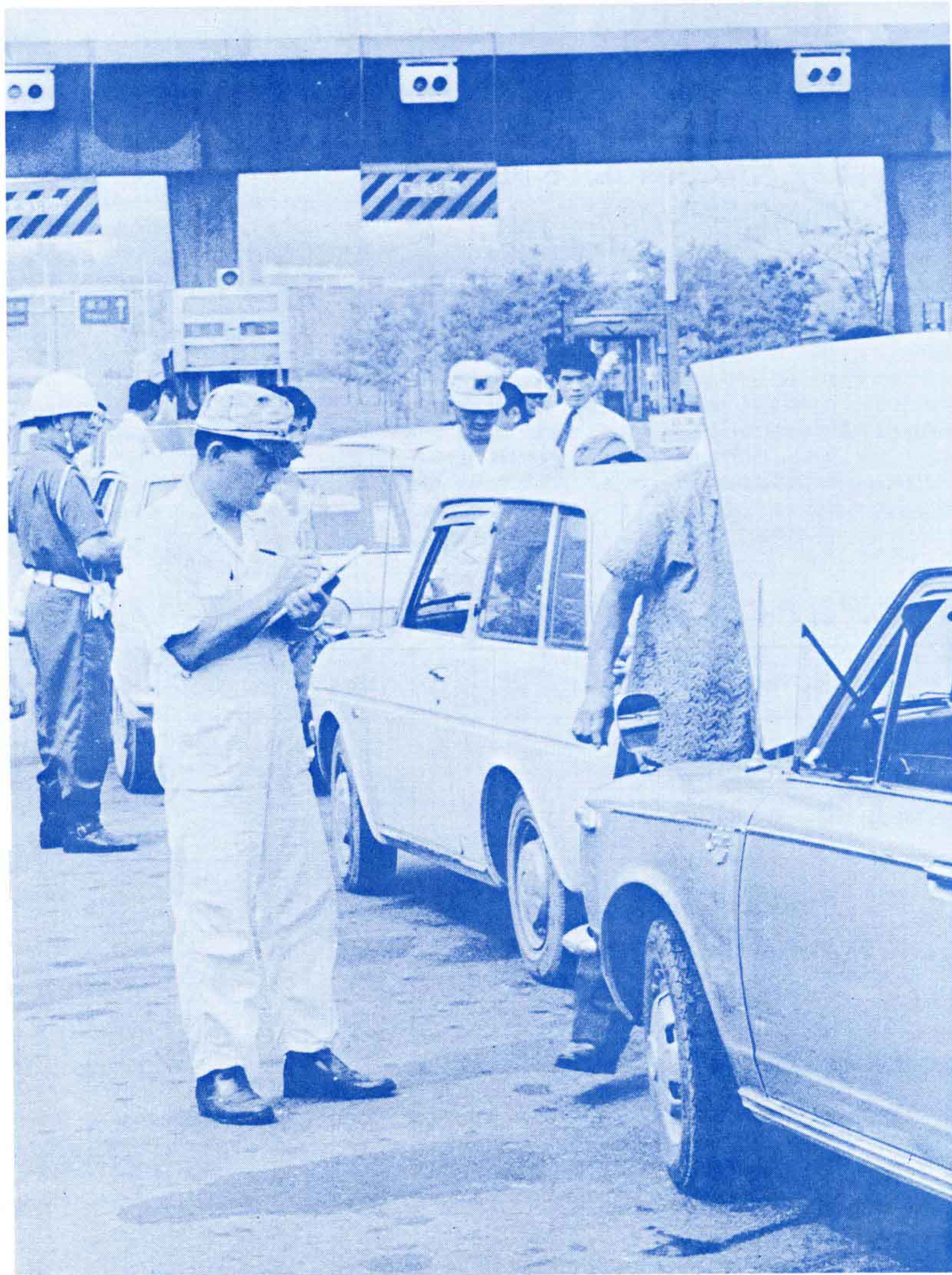


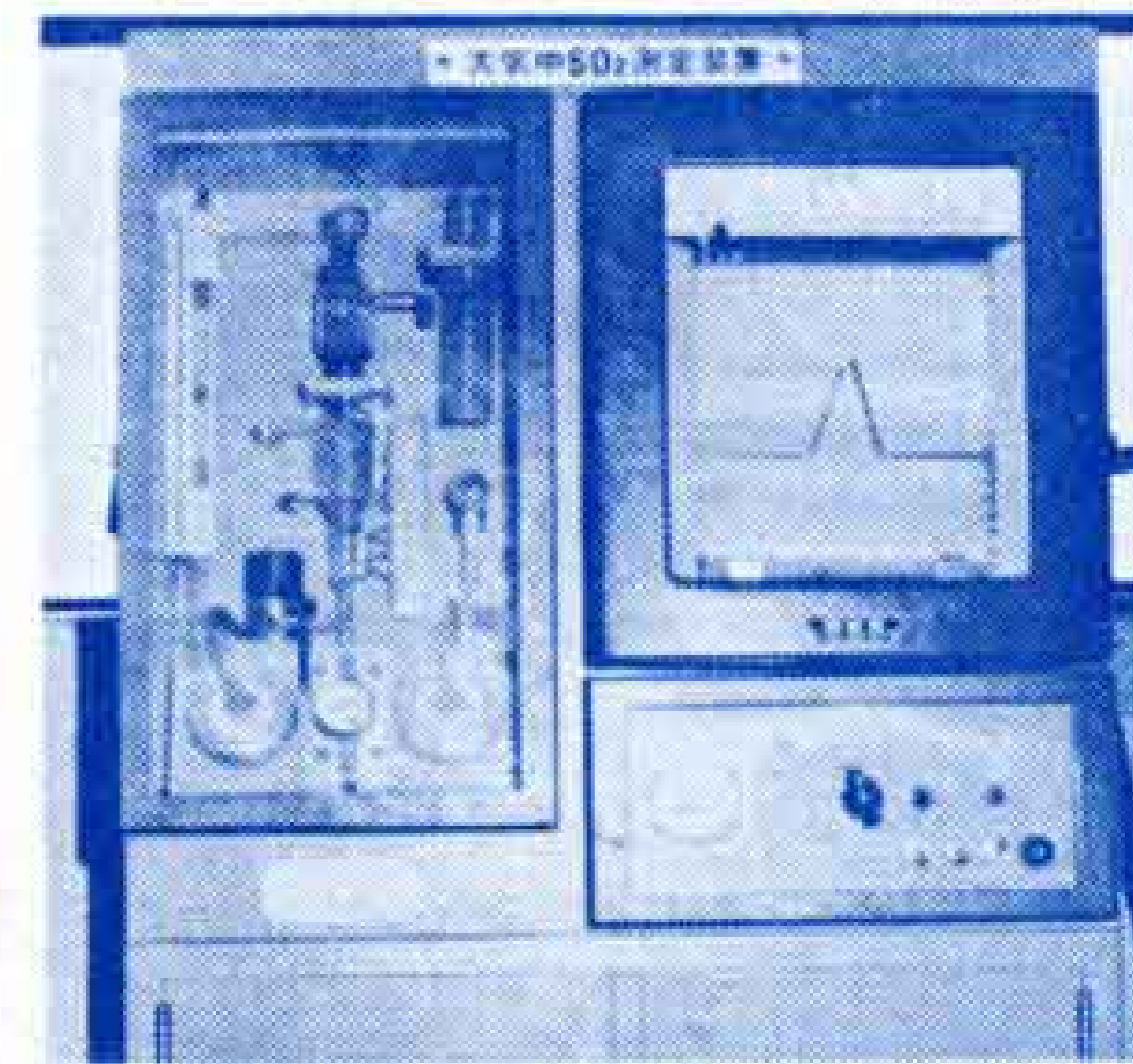
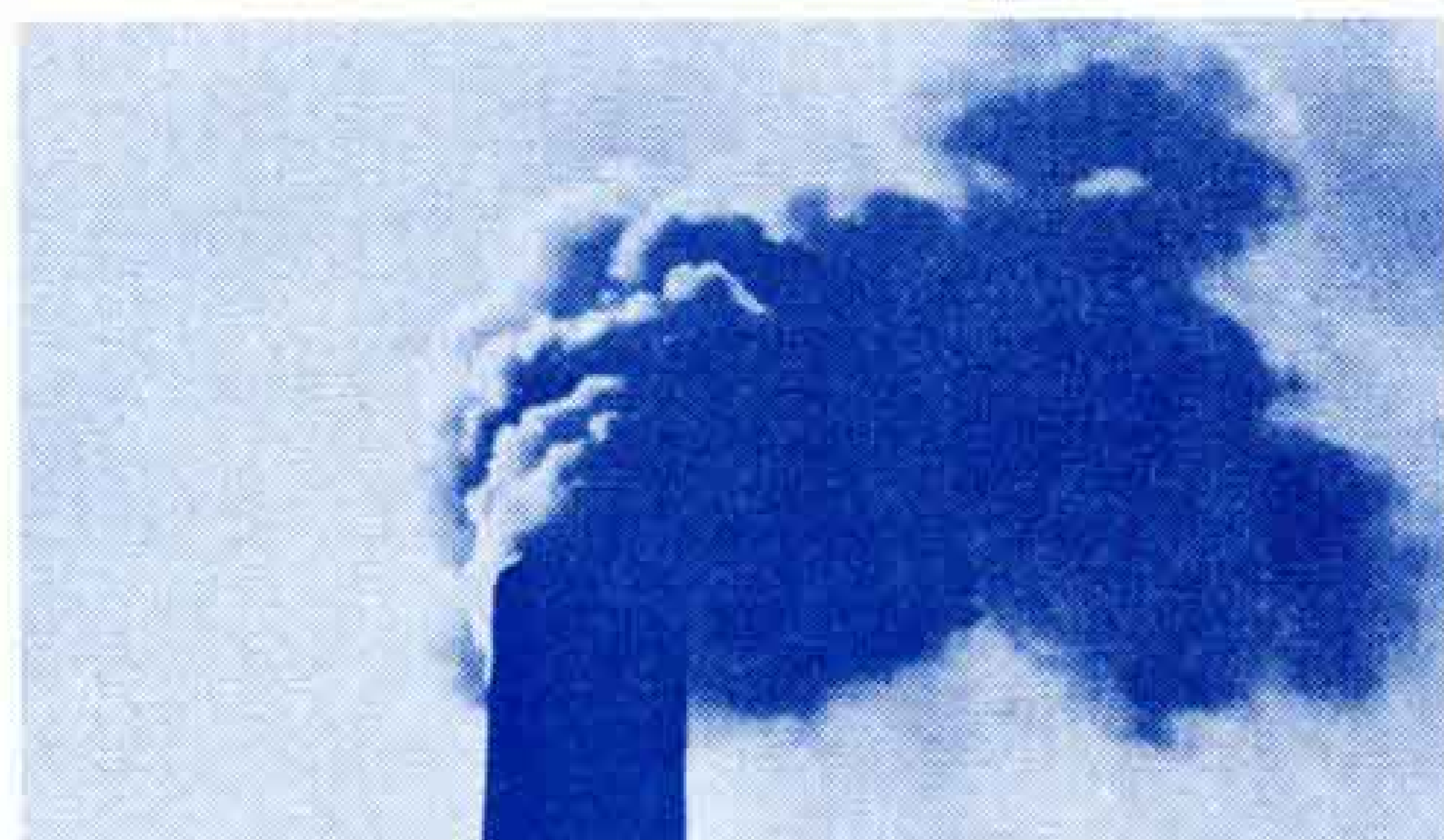
広報 **ふじ**

NO. 117

発行・富士市役所
富士市永田61-1
編集・企画調整部広報課
47.8.5 発行 【毎月5日と25日発行】



東名富士インターで街頭車検



元吉原中と富士保健所は依然として汚染の中心に

大気汚染を監視し市民の健康を守るため、市では昭和43年からイオウ酸化物などの測定をはじめました。その後大手企業と公害防止協定を結んだのを手始めに重油の低イオウ化、煙突の改善など各企業の協力のもとに公害防止をはかってきました。この結果、年ごとにイオウ酸化物の濃度は低下し、国の環境基準達成まで全測定点、あと一步とせまりました。

しかし、富士市公害対策審議会から、市民の健康を守り、住みよい生活環境を

確保するためには、イオウ酸化物濃度の環境目標値は0.03 P P mが望ましいと答申がありました。このため、富士市におけるイオウ酸化物濃度については、国の環境基準と、市民の生活環境を守るための目標値も達成しなければなりません。

それでは、昭和44年7月から47年6月までのイオウ酸化物測定結果(下図)が、さきごろまとまりましたので、見てみましょう。

監視をはじめたころに比べ、全体的な

汚染の減少はみられますが、依然として元吉原中学校、富士保健所は高い濃度が記録され、市内の汚染の中心地区となっています。しかし、この測定点は他に比べると、工場地帯の中心地であり、海岸に近いところから、常に海陸風の影響を受け、特に、北風の強い冬は高濃度が現われます。しかし、2測定点とも高濃度出現はあつても、1日平均0.05 P P m以下の日数が、大幅に増加しています。

また、昨年7月から伝法小で測定をはじめましたが、1年間の測定では市内で一番高濃度が現われるなど、汚染地域の変化が見られました。このため、現在今年度事業として、今泉小とあわせて常時監視局(テレメーターシステム)の増設をしており、10月には完成の見込みです

自動記録計によるイオウ酸化物測定値 (市内7カ所 44.7~47.6 3カ年対比)

測定場所	測定期間	測定日数	総時間数	1時間値の 期間平均 P P m	0.1 P P m以下の 時間数	同左%	0.2 P P m以下の 時間数	同左%	1日平均が 0.05 P P m以下の 日数	同左%
富士保健所	44.7~45.6	291	6.410	0.063	5.270	82.2	6.372	99.4	107	36.8
	45.7~46.6	352	7.942	0.058	7.180	90.4	7.841	98.7	115	32.7
	46.7~47.6	361	8.438	0.046	8.200	97.2	8.437	99.9	227	62.9
吉原第3中学校	44.7~45.6	359	8.122	0.068	6.689	82.3	8.002	98.5	82	22.8
	45.7~46.6	360	8.245	0.048	7.706	93.3	8.225	99.6	221	61.4
	46.7~47.6	361	8.410	0.046	7.939	94.4	8.393	99.8	241	66.8
勤労青少年会館	44.7~45.6	354	8.110	0.052	7.556	93.2	8.096	99.8	169	47.7
	45.7~46.6	360	8.354	0.048	7.830	93.7	8.333	99.7	213	59.2
	46.7~47.6	361	8.460	0.038	8.263	97.7	8.453	99.9	294	81.4
元吉原中学校	44.7~45.6	323	7.431	0.067	5.487	73.8	7.323	98.5	109	33.7
	45.7~46.6	343	7.858	0.059	6.779	86.3	7.841	99.8	119	34.7
	46.7~47.6	361	8.325	0.040	7.908	95.0	8.319	99.9	232	64.3
富士中学校	44.7~45.6	340	7.900	0.052	7.299	92.4	7.889	99.9	162	47.6
	45.7~46.6	352	8.110	0.049	7.538	92.9	8.101	99.9	197	56.0
	46.7~47.6	362	8.163	0.041	7.902	96.8	8.160	99.9	269	74.3
鷹岡公民館	44.7~45.6	339	7.623	0.049	7.265	95.3	7.620	99.9	166	49.0
	45.7~46.6	361	8.502	0.053	7.974	93.8	8.492	99.9	160	44.3
	46.7~47.6	346	7.715	0.034	7.527	97.6	7.710	99.9	295	85.3
大淵中学校	44.7~45.6	195	4.449	0.029	4.359	98.0	4.446	99.9	174	89.2
	45.7~46.6	359	8.204	0.026	8.114	98.9	8.202	99.9	333	92.8
	46.7~47.6	351	7.910	0.025	7.863	99.4	7.910	100	345	98.3
環境基準	1年間	365	8.760	0.05		88%以上		99%以上		70%以上
市内7カ所 平均値	44.7~45.6			0.058		87.8		99.4		44.0
	45.7~46.6			0.049		92.8		99.7		54.6
	46.7~47.6			0.039		96.8		99.9		76.0



6・29 午前11時



7・1 午前11時

大気汚染注意報を発令準備

6月29日イオウ酸化物の高濃度が出現

6月29日の午前9時から元吉原中学校で0.2 P P m以上の高濃度を測定。続いて午前10時に第3中学校でも0.2 P P m以上を測定。11時まで高濃度が続く。

このため市は、県と連絡をとりながら市の要綱に定める「富士市大気汚染注意報」の発令準備を進めました。しかし、その後気象現象が好転し、11時以降の状況を判断した結果、注意発令準備の指示にとどまりました。

このように高濃度が急に出現しましたが、重油使用量は平日と変わらず、まづたくの気象要素によるものと判断されました。この日の風向は一定しておらず、

風速も最高2.8 m/sと静穏に近い状態でした。したがって、排出された汚染物質が弱風によつて、重なり合つた結果と考えられます。また、他の測定点の平均値も平日に比べ高くなつていました。

したがって、今後も気象条件によつては、高濃度出現が予測されます。この対策としては、汚染物質の総排出量を規制することが最も適切です。

また、万一高濃度が発生した場合でも緊急処置がすぐできるように、各企業に対し、緊急時の措置体制を指導しています。

県知事の行政視察

富士市から20項目の要望を

竹山県知事は、県内の市町村を回つて行政視察を行なつていますが、7月25日富士市を訪れました。知事が富士市の行政視察を行なつたのは、今年で4回目。市内の様子も十分わかつたので、これまでのように市内は回らず、渡辺市長や団体の代表者から直接要望を聞きました。

市からの要望事項は、土木関係が8件、福祉関係2件、農林・教育関係がそれぞれ1件、団体の要望事項が総務関係2件、経済関係6件、計20項目を要望いたしました。

なお、県知事からこれらの要望は県に持ち帰り、内容を検討して対策を建てたいとあいさつが行なわれました。

富士市から出された、20項目の要望は次のとおりです、

市要望事項

- 環境統化センターの設置について
富士市では、富士・愛鷹山麓の広大な林野を中心に積極的な緑化をすすめ、自然環境の保全に努力しています。そこで第8次総合開発計画の事業計画に示されている環境緑化センターを富士市に設置してほしい。
- 一般国道1号線沼津バイパスの建設促

進について

国道1号線の交通緩和を図るためにはバイパス全区間を開通させ、車両をバイパスに誘導することが最も適切です。そこで、富士・由比バイパス以東の沼津バイパスの計画決定と建設を進めてほしい

- 富士海岸の高潮対策事業の建設省直轄事業採択と事業促進について

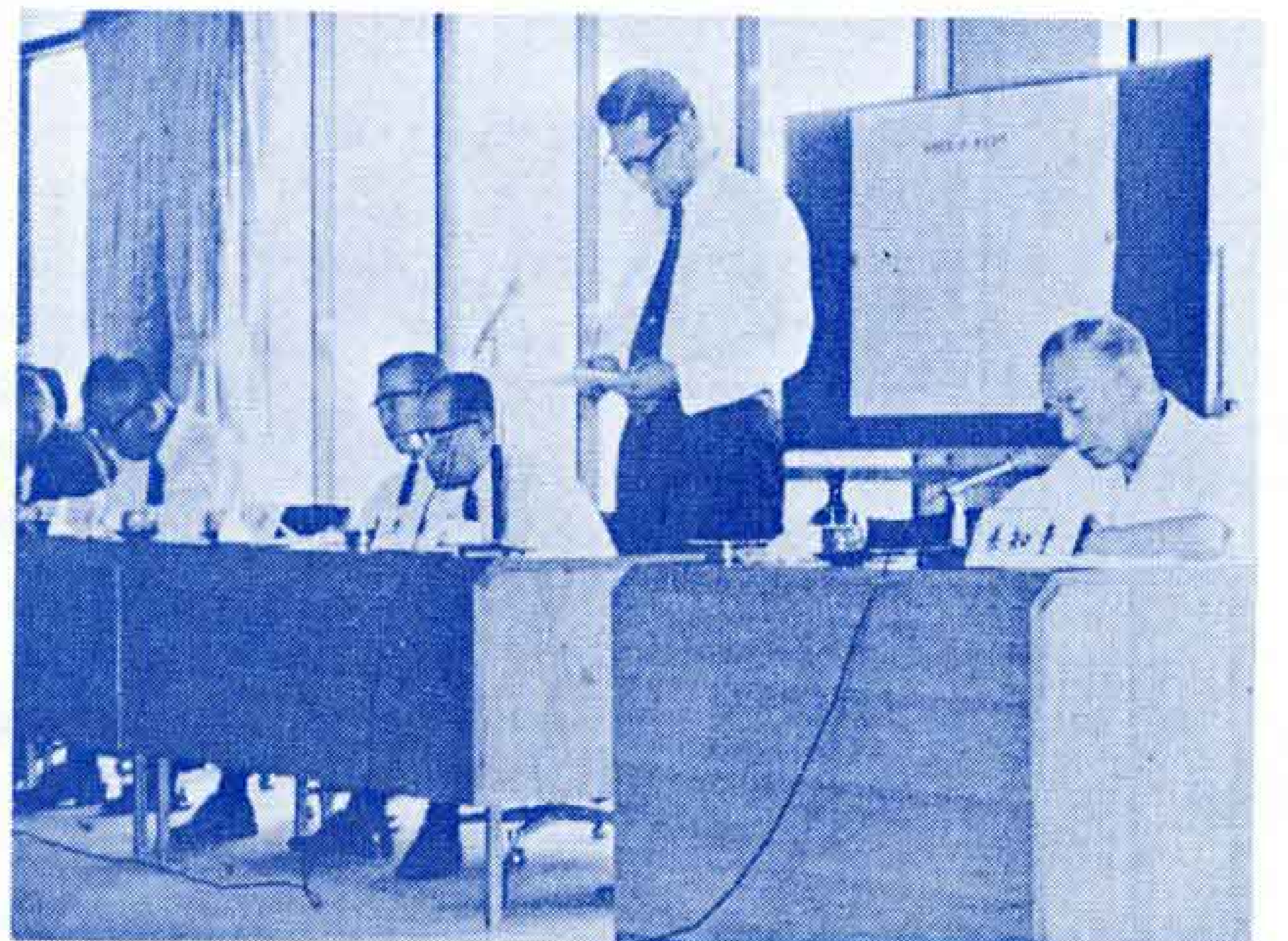
三四軒屋・新浜地先の海岸線は浸蝕がはげしく、台風期を迎えるたびに地域住民の不安は測り知れないものがあります昨年度から高潮対策事業として工事が進められていますが現在の事業量では万全とはいえません。そこで吉原海岸と同じように、建設省直轄事業として採択され、早期完成がはかれるよう配慮してほしい。

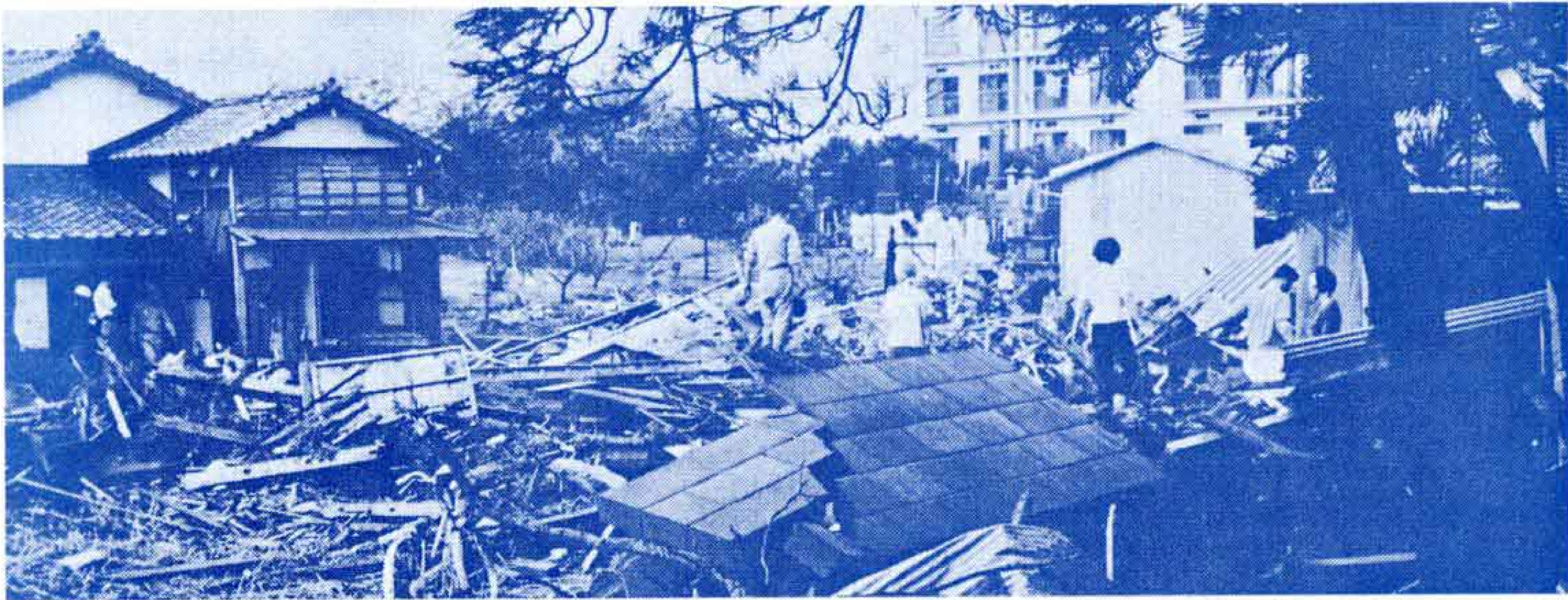
このほか、保育所設置に伴う助成措置について、星山放水路の早期完成について、潤井

川の1級河川指定について、県立高等学校普通科(男子)の設置などの要望事項が出されました。

団体要望事項

- 勤労者持家制度の促進について
地価の高騰で勤労者の住宅確保は、きわめて困難です。住宅、土地購入貸付金制度の充実など施策を進めてほしい。
 - 製紙スラッジ処理対策について
製紙スラッジ対策については企業自らの責任を自覚し、業界あげて処理体制確立に取り組んでいます。恒久的な処理計画の策定や行政上の指導援助をしてほしい。
- このほか、東海道新幹線富士停車駅の設置について、富士山大沢崩れに伴う農業用水対策についてなどの要望事項が出されました。





41 直撃を受けた元吉原海岸
・9・25 台風26号の



備えあれば憂いなし

9月は大台風が来襲

毎年忘れることなく襲つてきては、一瞬に財産や尊い命を奪いさる台風。現在の科学ではまだどうすることもできなく自然の恐ろしさをまざまざと見せつけます。

この台風も発生から衰えて消失するまでの一生があり、寿命は台風によつてもまちまちですが、1週間から1カ月以上に及ぶものもあります。発生から順に、発育期、最盛期、衰弱期の4段階があり、日本に接近するのは最盛期の終りごろで上陸するとだんだん衰弱していきます。

台風の発生数は、1年間に平均28個、少ない年で21個、多い年で50個近くになることもあります。月別では、8月がもつとも多く発生しますが、日本に接近するものは、1年間に5~6個で、9月がもつとも多く、ついで8月、10月の順になつ

ています。

とくに9月は昔から二百十日、二百二十日と呼んで、台風の上陸が多く、恐れられています。しかし、統計的には9月16日・26日ころがもつとも多く、この日を「台風襲来の特異日」と呼ぶ人もあります。ことに25・26日ころは、過去、伊勢湾台風、狩野川台風や富士市を襲つた台風26号のように大型なものが多く、9月中旬から下旬に発生する台風は、警戒が必要です。

正しい予報を

キャッチ

台風は大きな破壊エネルギーをもっています。上陸した場合はもちろん接近して通過した場合でも大きな被害をうけることもあります。大きな台風が必ずしも強い、台風とは限りません。そのときの気象条件によつて大きく左右されます。台風が発生したらつねに予報を適確に

キャッチして、万全の対策をたてるのが大切です。

これだけは準備を

台風が接近して被害が予想されるときは、つぎの準備をして万一に備えてください。

- 雨戸のくぎ打ち、横板の打ちつけ、屋根の補強などをする。
- 懐中電灯、ローソク、マツチなど照明器具は1カ所へまとめる。
- 飲み水、簡易食、日用品、救急用品、貴重品は持ち出しができるようにする
- 台風情報をキャッチするためにトランジスタラジオを用意する。
- 外に出るときはヘルメットやズキンなど頭を保護するものをかぶる。素足やはだはできるだけ出さないようにする
- 子どもの衣類には名前をつけておく。
- 避難命令がでたら、ガスの元セン、電気のスィッチを切り、指定の避難場所へ行く。

指定避難場所

吉原 市民会館・市立体育館・昭和通り公会堂

伝法 吉原第1中学校・伝法小学校・伝法山神社公民館

今泉 中央図書館・今泉会館・日吉浅間神社氏子会館・県立吉原高等学校・勤労青少年会館・広見小学校・神戸小学校・今宮公会堂

原田 原田小学校・市立原田公民館・大昭和吉永工場体育館

吉永 市立吉永公民館・吉永第1小学校・市立商業高等学校

吉原第3中学校・富士岡2支部公民館・吉永第2小学校・吉永第2小学校勢子辻分校

須津 須津中学校・須津小学校
浮島 境公会堂

元吉原 大昭和鈴川工場新館2階・元吉原中学校・今井公民館
元吉原小学校・桧町公民館
大野町公会堂・興和俵体育館

大淵 市立大淵公民館・大淵中学校・県立吉原林間学園・富

士本中町公会堂

富士 川原宿公会堂・富士第1小学校・富士中学校・富士文化センター・富士第2小学校・下横割北区民会館・富士南中学校

岩松 岩松小学校・岩松中学校・岩松農協橋下支所

田子浦 市立田子浦公民館・田子浦公会堂・田子浦小学校

鷹岡 市立鷹岡公民館・鷹岡小学校・鷹岡中学校・旧鷹岡事務所

地震

台風や大雨はある程度季節が限られ、天気予報などからも予想できますが、地震は何の前ぶれもなく、一瞬にあらゆるものを破壊してしまいます。いつどこで地震にあってもいいよう、普段から地震に対する心がまえをしておくことも大切です。市は、地震の時の避難場所を地区ごとに決めてあります。家族で地震対策を一度話し合ってはいかがですか。

万ーに備えて対策を

あわてて外へ出ないで 避難は本震が 終わってから

ミグラグラグラ、と何の前ぶれもなく起る地震。被害を最少限にいとめるには、やはり普段から地震に対する心がまえをしておくことです。

地震によつて起る被害や避難場所、避難するときの注意などをまとめましたので参考にしてください。

■地震の発生と揺れ

地震は地かく変動や火山活動などによつて起ります。地震には本震（大揺れ）と余震があり、本震は1~2分で終わりますが、余震は2日間も続くことがあります。

■地震の被害

地震動による家屋の倒壊、地面に亀裂や隆起が生じます。また、海岸では津波の心配があります。津波の前兆として海鳴りや異常な引き潮が起り、震源が近いと数分で津波の高波が押しよせてくる場合があります。しかし、津波は第1波より第2波、第3波の方が大きく危険です。押し波、引き波の規模が数100に及ぶこともあります。

■すばやく火の始末

石油ストーブやガス器具などは消し忘れないように、特にプロパンガスのボンベや都市ガスは元センを締めることで

す。消し忘れが火元になつて大火を起こすのも地震の特色といえます。

■避難時の心がまえ

あわてて外にとび出さないで、ヘルメットや座布団で頭を守り、本震が終わってから避難をはじめます。自動車やバイクの避難は事故や混乱のもとですから、絶対にやめましょう。こんな時こそみんなの協力が大切です。

■非常持出品

非常持出品は最小限にしたいものです。食料、衣類、貴重品などふだんから持出し袋に入れて、いつでも持出せるようにしておきましょう。

震度6で家屋の 倒壊が

地震の大きさは、マグニチュードや震度によつて現わしています。地震計に記録されても人体に感じない程度から、立っていることもできないほどの揺れまで、次のように分けることができます。

- ・震度1=マグニチュード5.4(微震) 止まっている人や地震に注意深い人だけに感じる。
- ・震度2=マグニチュード5.9(軽震) 大勢の人が感じ、戸障子がわずかに動くのがわかる。

- ・震度3=マグニチュード6.4(弱震) 家屋が揺れ、戸障子がガタガタ動き、器内の水面の動くのがわかる。
- ・震度4=マグニチュード6.9(中震) 家屋の揺れが激しく、すわりの悪い花びんなどが倒れ、歩行者にも感じる。
- ・震度5=マグニチュード7.4(強震) 壁に割目が入り、墓石などが倒れる。
- ・震度6=マグニチュード7.9(裂震) 家屋の倒壊は30%以下で、地割れができ多くの人は立っていることもできない
- ・震度7=マグニチュード8.4(激震) 家屋の倒壊は30%以上におよび、山くずれ、地割れ、断層などができる。

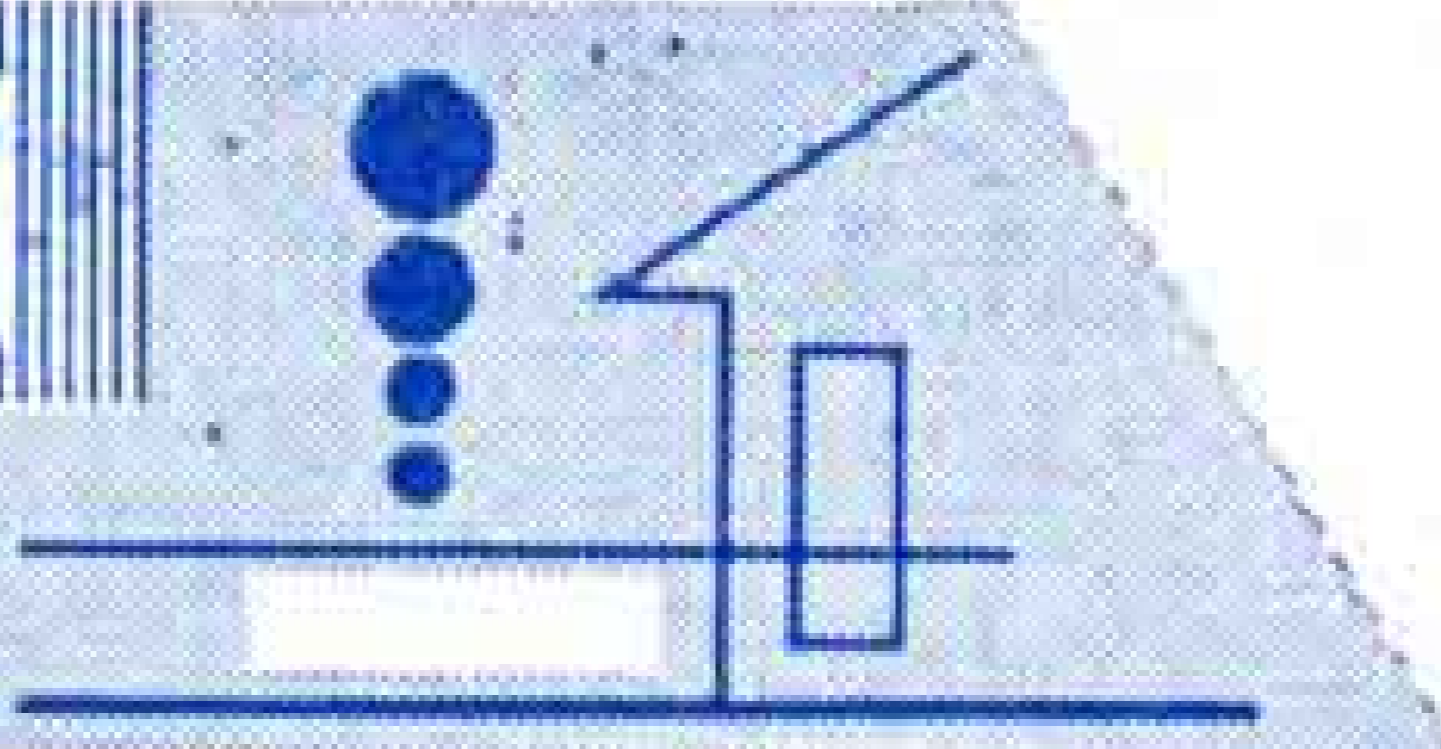
—指定避難場所—

市の指定避難場所は、37カ所にあります。建物の中は危険ですから学校などの運動場がとられてあります。最寄りの避難場所を覚えてください。なお、市の指定避難場所は次のとおりです。

- 吉原 吉原小学校
- 伝法 伝法小学校・吉原第1中学校
- 今泉 今泉小学校・吉原第2中学校・
県立吉原高等学校・広見小学校
神戸小学校
- 原田 原田小学校
- 吉永 吉永第1小学校・東中学校・吉原第3中学校・吉原商業高等学校・昭和幼稚園・吉永第2小学校・吉永第2小学校勢子辻分校
- 須津 須津小学校・須津中学校
- 浮島 東小学校
- 元吉原 元吉原小学校・元吉原中学校
- 大淵 大淵第1小学校・大淵第2小学校
大淵中学校
- 富士 富士第1小学校・富士第2小学校
富士中学校・富士南中学校・
県立富士高等学校・富士見高等学校
- 岩松 岩松小学校・岩松中学校
- 田子浦 田子浦小学校・田子浦中学校・
田子浦幼稚園
- 鷹岡 鷹岡小学校・鷹岡中学校



市政モニター提言



前もって歩道橋の用地確保を

交通戦争に対処して、市内の各地区にスクールゾーンやストップマークなどが設置され、交通安全対策が進んでいます。そこで、より充実した安全対策を進めていくために、交通量が多く危険な場所、利用者の多い横断歩道は、歩道橋に変えてはどうですか。市内全部を一度に実施することはできないでしょうから、あらかじめ歩道橋設置のための土地を市で確保しておくことです。

たとえば、富士駅南の富士停車場線は、富士大橋から東進する直線コースにたくさんの信号機があり、これ以上ふやすことは無理かと思えます。こうした悪条件下に富士第二小学校があります。しかし児童の安全対策を考えると歩道橋の設置が一番です。かといって、すぐ設置してほしいと言つてもできないでしょう



から用地だけは確保しておくことです。設置する時になつて、土地買収ができないばかりに計画が実現しなくてはこまります。

このほか、富士駅南北の出入口においても歩道橋のための土地を確保してください。都市改造が進められている現在なら簡単にできることと思われま

(時田徳子・水戸島)



富士市の人口伸び率は県下一

県統計課は、昨年1年間の県内の人口動態を調べていましたが、このほど結果をまとめました。

静岡県下の人口は、昨年1月1日現在309万8535人でしたが、今年は314万1702人と1年間に4万3167人増加しました。また、県下上位5市の人口は1月1日現在浜松市がトップで44万2730人、ついで静岡市の42万4985人、清水市の23万6619人、沼津市の19万2130人、富士市の18万6249人と続いています。

しかし、人口の伸び率は富士市が一番で、近いうちに4位の沼津市を抜くことも予想されます。これは、昨年1年間に富士市の人口が自然増で2973人、社会増で1441人の4414人増加しました。これに対し沼津市は自然増が2942人で富士市とほぼ同じですが、社会増はマイナス291人で、結局2651人増加したにすぎませんでした。このようなことから、3、4年先には沼津市を抜くことも考えられるわけです。

なお、調査方法が国勢調査を基礎にして、毎月の住民基本台帳の人口移動報告により推計するので、住民登録人口と異なっています。

新消防団長に深沢茂一氏



望月虎一富士市消防団長が勇退されたのにもない新団長にこれまで副団長の深沢茂一氏(吉原3・65才)が7月25日就任しました。深沢新団長は、消防歴33年のベテランで、これまで多くの団員を育ててきました

なお、勇退された望月虎一氏(津田・69才)は、消防歴37年で、その間勲五等瑞宝章、日本消防協会功績賞、消防長の永年勤続功労賞などを受けています。



老令福祉年金を受けるには...

問

老令福祉年金は、どういう人が受けることができますか……。

答

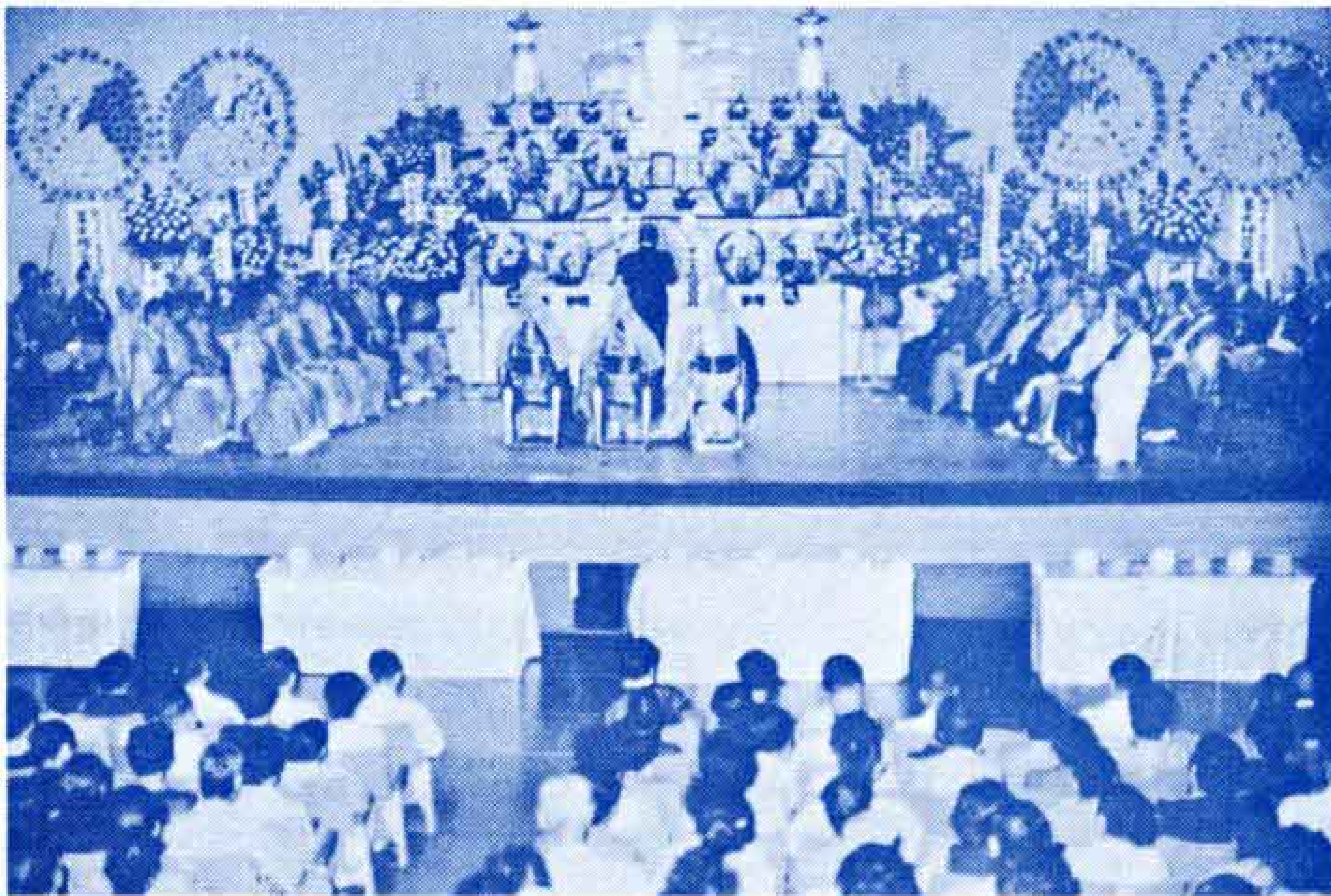
老令福祉年金は、拠出制の老令年金の経済的ないし補完的な制度として設けられました。国民年金制度ができた当時

(昭和36年4月)の年令が、45才から55才までの人は、たとえ老令年金を受けるのに必要な受給資格期間の10年を満たさなくても老令福祉年金が受けられます。これは、その人の保険料納付済期間と保険料免除期間との合計が、当時の年令に応じて、短縮された7年から4年までの期間をこえるとき70才から受けられるわけです。

また、この制度ができた当時の年令が50才をこえる人は、保険料を納

める期間が短いことから、拠出制年金の加入対象から除かれました。そのかわり、この人たちは、保険料を納めなくても70才から老令福祉年金を特別に受けられるようになっています。

なお、国民年金法の改正によつて昨年の11月から身体障害者等級が2級に該当する障害があるときは、老令福祉年金の支給が早められ、65才からになりました。



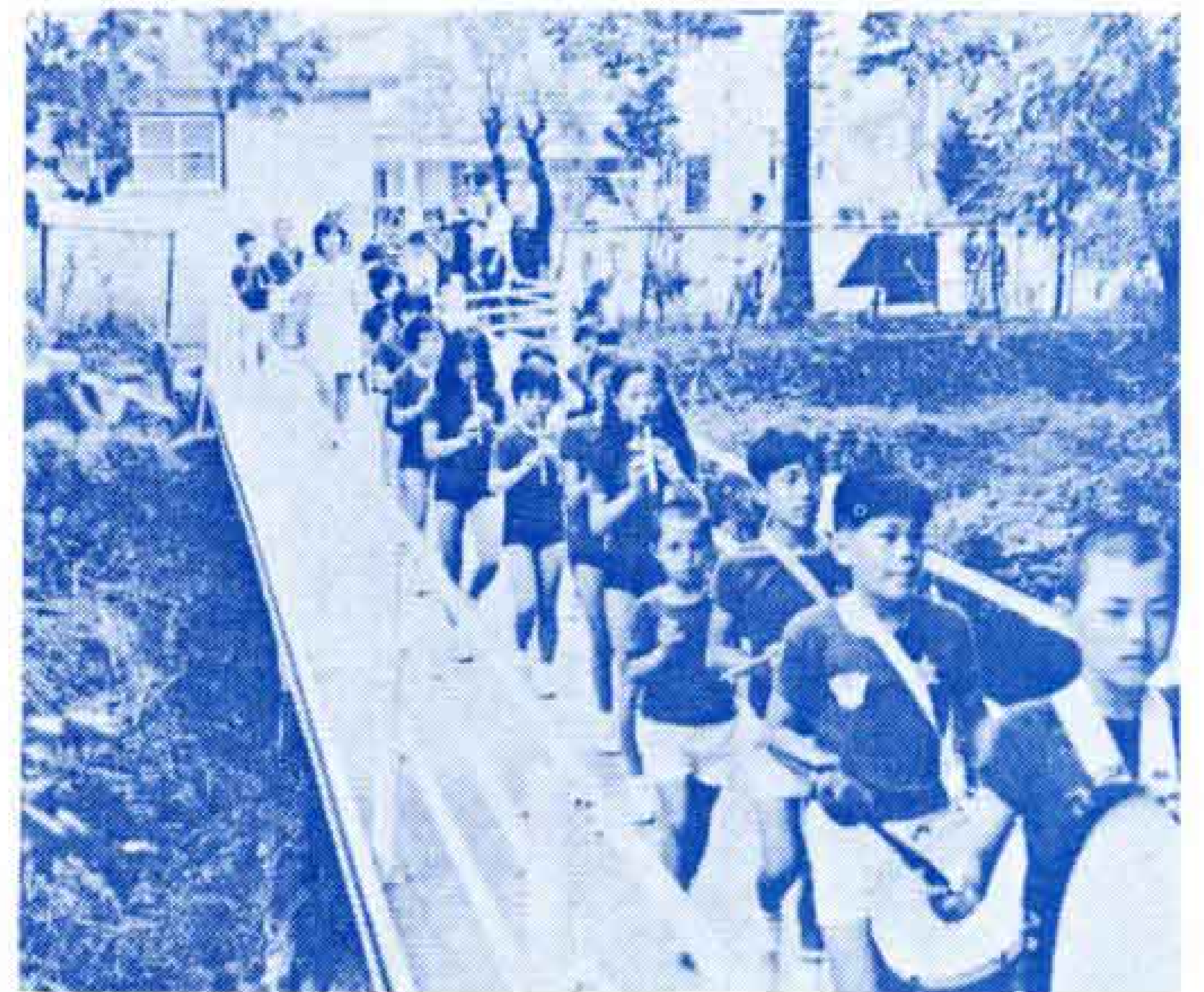
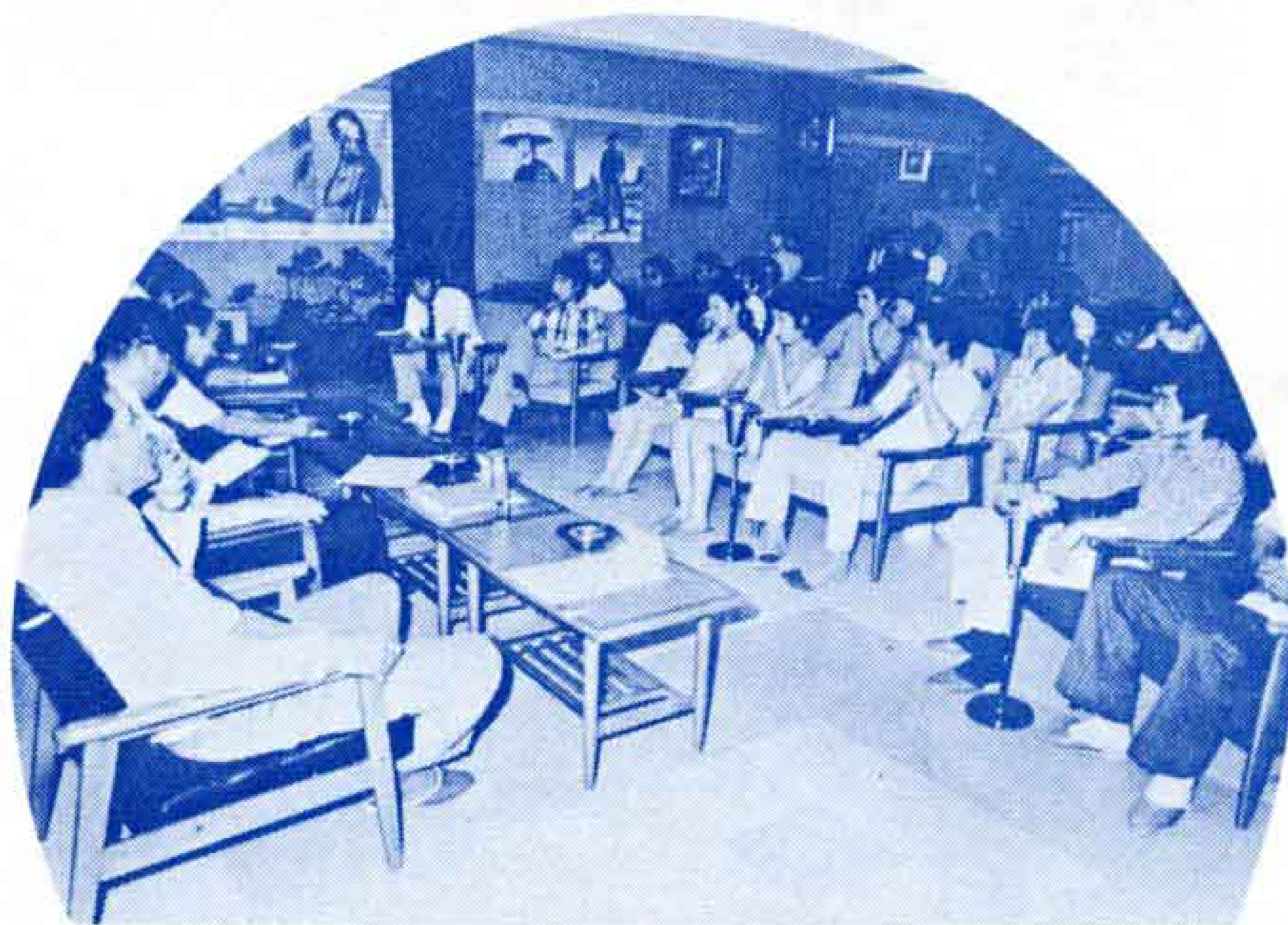
■ 交通事故死者の合同慰霊祭

毎年多くの人々が交通事故によつて尊い命をうばわれていますが、市内の交通事故による死亡者の合同慰霊祭を7月28日、富士文化センターで行ないました。慰霊祭は、夏の交通事故死をなくす運動の一環として行なわれましたが、式場には交通事故で家族を失つた人たち約500人が参列し、み霊を慰めました。このあと代表者が、市内の交通事故多発カ所で供養塔を建て式を終りました。

なお、交通事故による死亡者は、昭和42年から5年間で243人にも及んでいます。今年になつてからもすでに22人がなくなりました。

■ 勤労青少年と市長の語る会

富士勤労青少年会館では、7月15日の勤労青少年の日を記念して、富士登山、市長と語る会、納涼ダンスパーティーなど各種の催しを行ないました。24日の市長と語る会には、約50人の若者が集まり、若い目から見た市政についてなど活発な意見が出されました。



■ 学校橋が完成しました

吉永第2小学校西側の赤淵川に建設していた学校橋が、さきごろ完成し渡りぞめを7月26日行ないました。これまで、桑崎や石井町、千束から通学している子どもたちは、校区の中でただ1カ所の交通事故危険カ所に指定されている場所を通つていました。しかし、橋の完成で、危険カ所を通らないですむようになり、通学も大変便利になりました。

＝写真は渡りぞめを行なう鼓笛隊＝

■ 書道展に265点の応募が

第6回富士市書道展をさきごろ行ないましたが、一般や学生から毛筆、硬筆に265点の応募作品がありました。作品はどれも優秀なものばかりで、審査員もレベルの高いのに驚くほど、賞を決めるのに苦労してました。なお各部門の市長賞は次のとおりです。

- 毛筆部門 一般 久保田花枝・松岡
- 高校 大橋里美・富士高
- 硬筆部門 一般 伊東福造・原田3
- 高校 佐野初美・富士見高





学校自慢

=富士南中学校=

クラスごとに歌と旗づくり

緑に囲まれた広い校庭に、今朝も学級の歌が流れてきます。私たちの南中では去年から始めた学級の歌、学級の旗造りが自慢です。みんなで詩を書き、メロディーをつけていくうちに、「こんなクラスにしたいなあ」「こんなクラスだつたらすばらしいのに」という1つの願いがクラス皆んなの中に広がってきました。友の曲を聞き、自分の曲を発表し、討論するみんなの姿に、日ごろいくら叫んでもできなかつた協力というものを見たような気がしました。学級の旗もまた、生徒の作品です。運動会には、生徒自身の手で描かれた旗が、高く澄んだ秋空にひるがえりました。

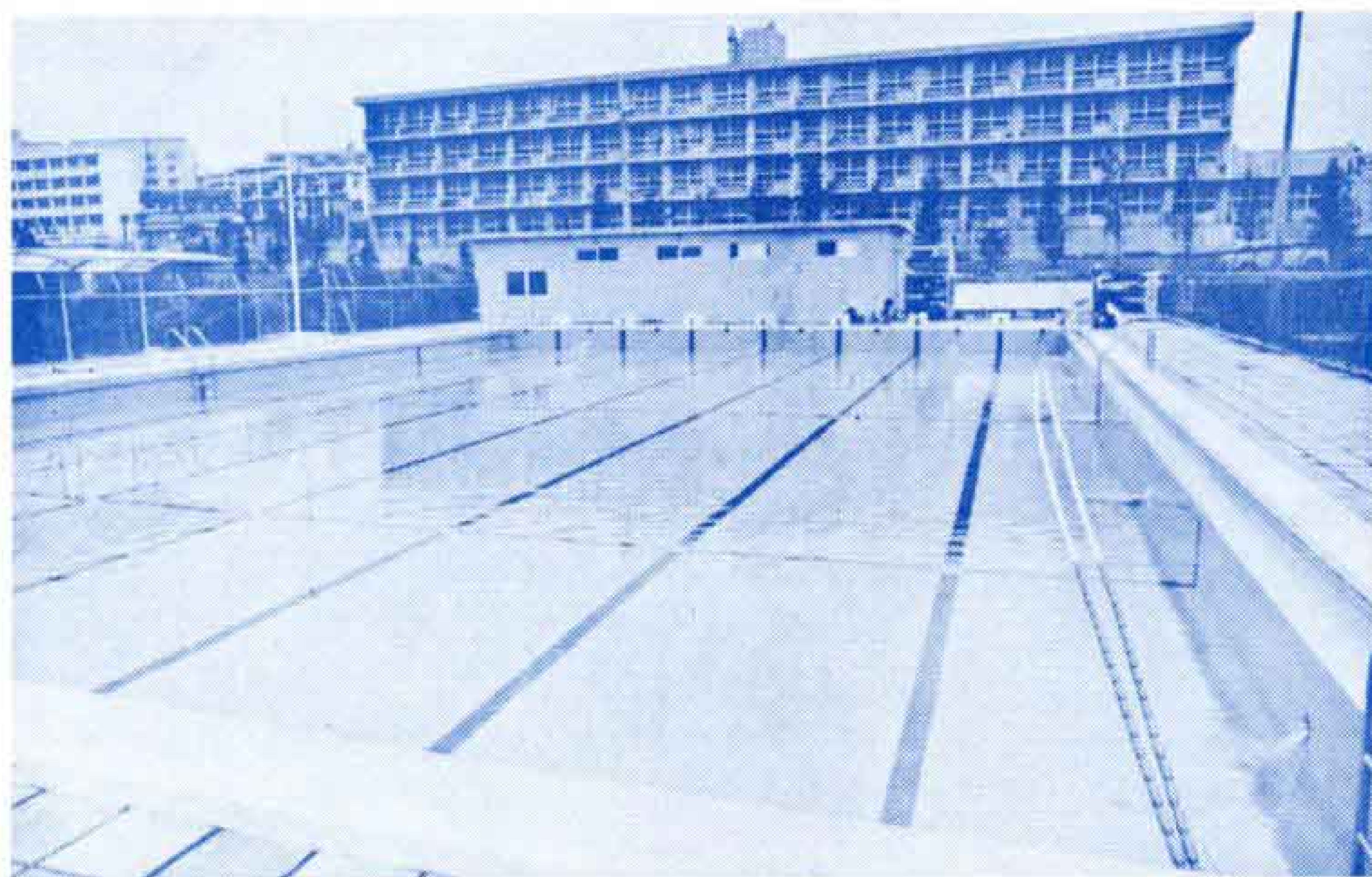
こうして造られた学級の歌と旗のため

発表会も催され、今では一冊の本となつて私たちの手もとにあります。

学級の歌、旗とならぶ、南中のもう一つの自慢は、雨の日も風の日も休むことなく、学校の整美につくしてくださっている用務員のおじさんです。我が校の前庭にある美しい芝は、おじさんの汗と心によつて作られた

ものです。

今年創立12年他校と比べたらチョツピリスタートの遅くれた南中ですが、足並をそろえてがんばっています。しつかりした土台なくしては、どんなりつばな城も築けません。学校の基礎となる学級という石を、確実にひとつひとつ積み上げているところです。



広見小にプールが完成

楽しい夏休みになつたけど、みんな元気に遊んだり勉強しているかな——。プールや海で泳いでいる子は、まつ黒にやけているね。だけどあまり遊んでばかりいると、宿題がたまって夏休みの終わりにたいへんだよ。

こんど広見小学校にプールができたけどみんな知ってるかな。これで市内の小学校には全部あるんだ。プール開きは8月5日だつたけど、おおきさは、タテ25m、ヨコ15mで7コースができたよ。

わたしたちのまち



吉永第2小学校 6年 佐藤千鶴

桑崎に生れたわたしは、とてもしあわせです。青々とした緑につつまれ、空気

も澄みきつている。学校を病気でやすんだこともなく、ほんとうに安心してらせる土地です。

わたしが通学しているのは吉永第2小学校、勉強しているときも、非常に静かで、小鳥の声がいつも聞こえます。町の方の学校は、いつも自動車の音ばかりでとてもうるさく、また、あつくて勉強もおちついてできないと思います。わたしたちの学校は、いつもほんとうにすずしくて勉強するのに最適なところです。水もすみきつて、きれいなおいしい水で

いつばいです。

ひとつ残念なことは、運動場が少しせまいことです。運動するのにもうすこし広くないと、つごうが悪いことがたびたびあります。

ときどきよその学校の先生が来ますがかならず「人数は少ないけれど、緑にかこまれていい所だ。」と言われます。そのことばを聞いたたびに、わたしは住んでいる町、通学している学校をたいへんほこりに感じます。

